

シルヴィア・プラス詩集

皆見 昭 訳



Photograph by Rollie McKenna

鷹 書 房

訳 者 略 歴

みなみ・あきら
皆 見 昭

1931年福岡市に生れる。

京都大学文学修士。現在、岡山大学助教授。英國のロマン派
詩人シェリーについての研究、及びシルヴィア・プラスにつ
いての研究を専門とする。

現住所 岡山市津島中1-4-2-503

定価 1,500 円 (分)1098(製)0065(出)4331

昭和51年8月20日 第1版発行

訳 者 皆 見 昭

発行者 三 好 熙

発行所 鷹 書 房

東京都文京区後楽2-4-1

電話 (03) 815-5523

振替 東京 22523

印刷 東徳・製本 中村製本

目次

「巨像」より

森の神^{フオイン} 4

ローレライ 6

雨中の黒い鳥 10

独り者^{スビンスター} 14

誕生日の詩 17

一 誰なの 17

二 暗い家^ナ 20

三 酒神^{、イナ}の侍女^{ッ、フ} 22

四 獣 24

五 葦の池からの笛の音^ね 26

六 魔女の火あぶり 28

七 石たち 30

「湖水を渡る」より

嵐が丘 36

湖水を渡る 40

私は垂直 42

子守りたち 44

不安 48

遺言 50

水仙の間あいだで 53

「水晶占い師」より

水晶占い師 56

「追求」より

追求 62

「冬の木立」

冬の木立 68

子供 70

ブラジリア 72

男娼^{ンガロ} 75

子のない女 78

几帳の蔭 80

口を閉ざす勇氣 85

他者 88

停止して 92

兎捕り 95

秘法修行者 98

ろうそくの灯のもとで 101

ライアニス 104

サリドマイド 107

父なき息子のために 110

レスボス島の二人 112

蜂の群れ 119

メアリーの歌 124

三人の女たち、三つの声のための詩 126

「エアリアル」より

あかつきの歌 158

案内者たち 160

霧中の羊 162

志願者

164

レイディ・ラザラス
甦りの女性

168

チューリップ

176

切断

181

十月のひなげし

185

エアリファル
天駝ける精

187

デスカンベニ
死のビジネスマンたち

190

ニックと燭台

193

そこへ着きながら

197

おとうちゃん

202

あなたは

209

体温一〇三度

211

巣箱の到来

216

吊り下がった男

220

小さなフーガ 221

年月 226

ミュンヘンのマネキンたち 229

七月のひなげし 232

親切 234

打ち傷 236

縁よち 238

言葉たち 241

解説 243

「巨像」より

森の神
フォーレン

森の神のようにかがみこんで、彼が、
月は白く、沼に霜降る森から叫ぶと、
枝さし交わす林のふくろうがさわぎ、
この男の招きに応えて、どれもみな
闇の中で羽ばたいて、見つめたものだ。

川岸をよろよと家路に向う

酔っぱらったおおばん鳥ののろい羽音のみ。

星は川の水に沈み、星の眼の

二重の光が列となって

あのふくろうの大枝を照らす。

黄色い光の円形闘技場は

彼の姿の変りようを見守り、

ひずめが出来て、山羊の角が芽生える

そのさまを見た。扮装した神が立ち上り

森の奥へと走り去るのを見とどけた。

水に入るのにいい夜じゃないわ。

満月が見ていて、黒い川は

鏡のやさしい輝きを受けながら流れ、

青い川霧は、一と切れずつ、

漁師たちは寝ていると言うのに、

漁網のように川に落ちて、

あの大きな城の尖塔は

鏡に映って二重になり、

静まりかえっている。でもこのような姿のものが、

水の静かな顔を乱して、私の方に

浮かび上って来る。天の底から昇り出て、

手足ははち切れんばかりに豊満で、

髪は大理石の彫刻よりも重たくて。

彼女たちの歌う歌は

満ち足りて清らかすぎて

とてもあり得ない世界のもの。

水の姉妹たち、あなたたちの歌は、

均衡のとれた支配者のもとの

みごとに操縦されるこの国の中では

渦巻状の人間の耳で聞くには、荷が重すぎる。

現世の秩序を超えながら

調和によって心を乱し、

あなたたちの声は取り巻き攻める。

確かな港を約束して、

あなたたちは、悪夢の黒い暗礁に宿る。

昼間は、高い窓の棚からも、

夢うつつの境いの領域から歌う。

あなたたちの心を狂わす歌よりも
もっと悪いもの、それは

あなたたちの沈黙。あなたたちの

氷のような呼び声の源にあるのは、

限りなく深い酔いと眠り。

ああラインの川よ、私は